

平成25年度

カリキュラム委員会（第1回）議事要旨

日時：平成25年6月21日（金） 16:00～17:35

場所：全学教育管理・講義A棟 6階 大会議室

出席者：委員長 箕島（実施調整部長）

委員 江川（機構長）、竹村（企画開発部長）、岡島（文）、舟場（文）、竹中（カレッジ）、青野（人）、野村（人）、河野（言（外））、田中（法）、佐々木（経）、内田（理）、杉山（理）、藤本（理）、金岡（理）、佐伯（理・廣野代理）、松尾（医）、藤堂（医）、吉田（歯）、狩野（基）、木村（言）、三宅（言）、渡邊（言）、松本（言）、松繁（国公）、大谷（国セ）、清川（サ）、安福（サ・阿部代理）、窪田（全教）、森（全教）、小松（全教）、岩居（全教）

オブザーバー 井上（医保・梅下代理）、小磯（理）

欠席者：北村（法）、山本（経）、宮崎（理）、近藤（薬）、南方（工）、小林（生命（基））、宮久保（博）、西田（保セ）、坂東（全教）

陪席者：都々木教務係長、山中教務係主任、小坂教務係員

議題：

議事に先立ち、委員長から挨拶があり、人間科学研究科、理学研究科、言語文化研究科からの委員にそれぞれ交代があり、また教育学習支援部門長の交代に伴い、新部門長が委員に加わる旨紹介があった。

また、資料1に基づき実施調整部のもとに置く委員会の委員構成について確認があり、昨年度に引き続き、医学部保健学科および理学部から教授1名ずつがオブザーバーとして出席している旨紹介があった。

報告事項

1. 実施調整部部長会議（第1回）について（資料2）

委員長から、資料2に基づき報告があった。

2. 平成24年度第2学期成績結果の誤記入等に関する申立て状況について（資料3）

委員長から、資料3に基づき説明があり、受付総数33件のうち13件の成績訂正があったことに対して、成績結果の誤記入等を未然に防止するため、点検作業・入力確認を十分に行っていただくよう各部局の関係教員に周知していただきたい旨発言があった。

協議事項

1. 平成26年度カリキュラム編成の基本方針について（資料4）

委員長から、資料4に基づき説明があり、審議の結果承認された。

なお、任期付教員の担当で平成26年度より開講コマ数を増やす予定であるが、任期満

了後は増加させたコマを維持できず、開講コマ数を元に戻さざるを得ないが、との質問があり、委員長から支障のない旨発言があった。また、部局負担コマ数の見直しを含めた長期的なカリキュラム編成の検討を希望する旨発言があり、これに対して、部局負担コマ数等の問題は検討委員会等を別途設けて長期的に検討する必要がある旨発言があった。

2. 平成26年度カリキュラム編成年間スケジュール等について(資料5)

委員長から、資料5に基づき説明があり、審議の結果承認された。

3. 部局窓口担当教員の選出について(資料6)

委員長から、資料6に基づき説明があり、審議の結果承認された。

4. 平成25年度授業担当教員等の変更等について(資料7)

委員長から、資料7に基づき説明があり、審議の結果承認された。

また、第Ⅱ・Ⅳ Semester 開講で担当教員が未定となっている科目については、速やかに担当を決定し、教務係へ連絡いただきたい旨発言があった。

5. 平成25年度ゲストスピーカー(特別講師)について(資料8)【回収資料】

委員長から、資料8に基づき説明があり、審議の結果承認された。

6. 「実践英語」上級クラスの導入について(資料9)

委員長から、資料9に基づき、言語教育部門・言語教育部会から提案があり、本機構執行部で内容の検討を行った旨説明があった。引き続き、平成26年度からの実施内容や今後の展開などについて説明があり、種々協議の結果承認された。

なお、委員長から、ネイティブスピーカー教員の増員に関して予算の確保はできていないが、上級クラスの開講コマ数をできるだけ提案の16コマに近づけるようにしたい旨発言があった。

懇談事項

1. 「特別外国語」の「国際教養2」への改編について(資料10)

委員長から、資料10に基づき、言語教育部門・言語教育部会から提案があり、本機構執行部で内容の検討を行った旨説明があった。引き続き、改編内容や卒業要件単位への算入などについて説明があり、種々意見交換を行った。

なお、委員長から、本提案については各学部長あてに意向調査を行い、その結果を基に引き続き検討していくこととしたい旨発言があった。

● その他配付資料

実施調整部のもとに置く委員会の委員構成 (資料1)

次回開催： 平成25年 7月19日(金) 15:00～(予定)